

5 文法2 文の成分・文節の働き

組	
番号	
氏名	

1 次の文の にあてはまる語句を書きなさい。

文は、「何が」「どのように」「どんなだ」のような、さまざまなのはたらきを持った部分から組み立てられている。こうした各部分を という。いくつかの文節がまとまって一つの文の成分としてはたらいっている場合、そのまとまりを という。

2 となり合う二つ以上の文節がまとまって、一つの文の成分としてはたらく場合、そのまとまりを連文節といいます。次の各文の連文節に 線を引きなさい。

- ① 父と母が 仕事に行った。
- ② 先生は、たいへん優しい人柄だ。
- ③ わたしは、暖かい春の訪れを感じた。
- ④ 君までがそんなことを言うのなら、中断しよう。

3 文の成分は、一文節の場合は、主語・述語・修飾語・接続語・独立語、連文節の場合は、主部・述部・修飾部・接続部・独立部とよびます。次の 線部の文の成分を答えなさい。

- ① あなたの教科書は、机の上にある。
- ② あれが僕の通っている中学校です。
- ③ よく調べれば、真犯人が分かる。
- ④ まばゆいばかりの光、それが超新星の誕生だ。
- ⑤ 決められた時間と場所を守って出してください。
- ⑥ 姉はたいへんきれい好きだ。
- ⑦ あいさつ運動をいつ行うのか。